


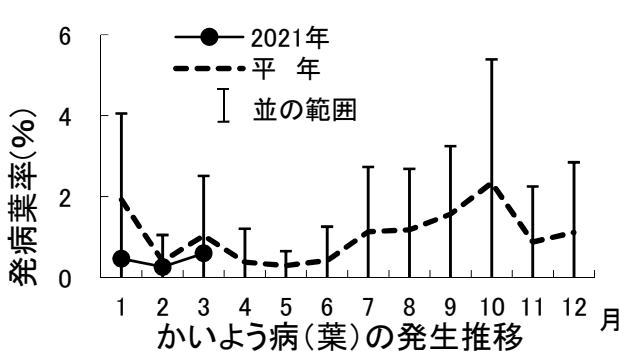
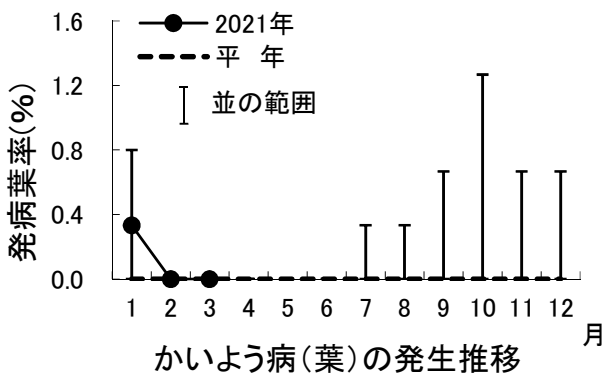
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	並	
予報	3 月からの増減傾向	↓	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果

（発病葉率）

〈中央値〉

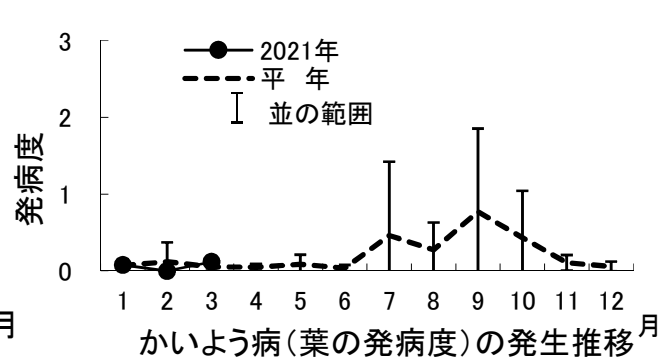
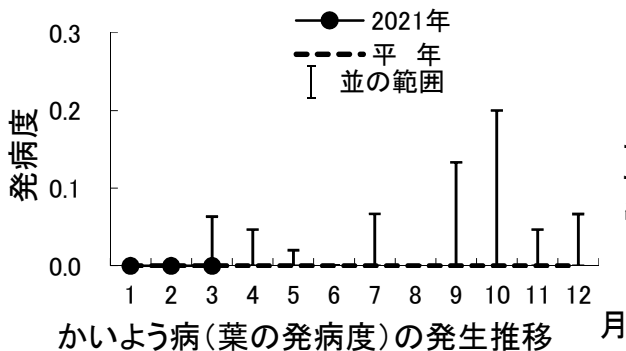
〈平均値〉



（葉の発病度）

〈中央値〉


〈平均値〉



・ 発生ほ場率：40%（平年値：28.2%）

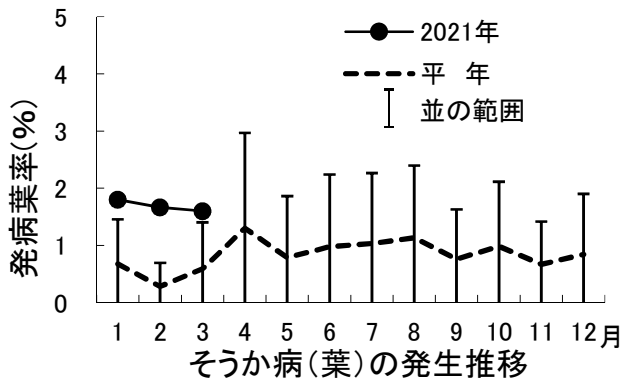
防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。

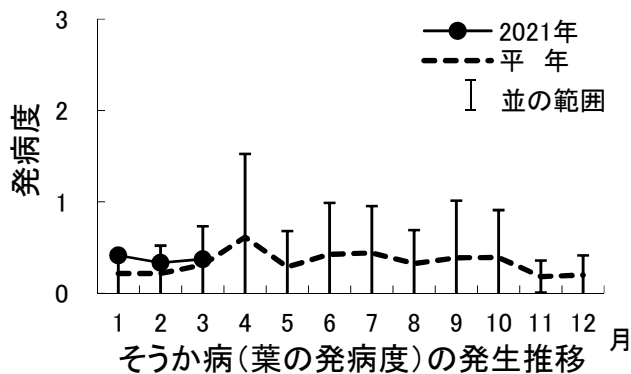
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

(発病葉率)



(葉の発病度)




・ 発生ほ場率：60%（平年値：28.2%）

防除のポイント

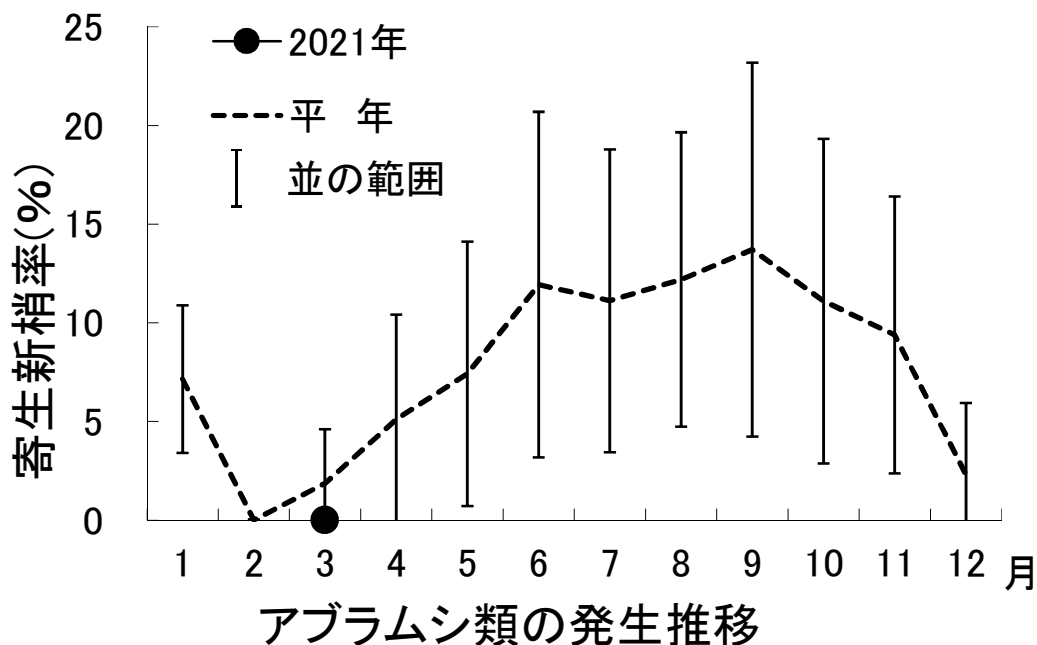
・ 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害果→



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	


調査結果



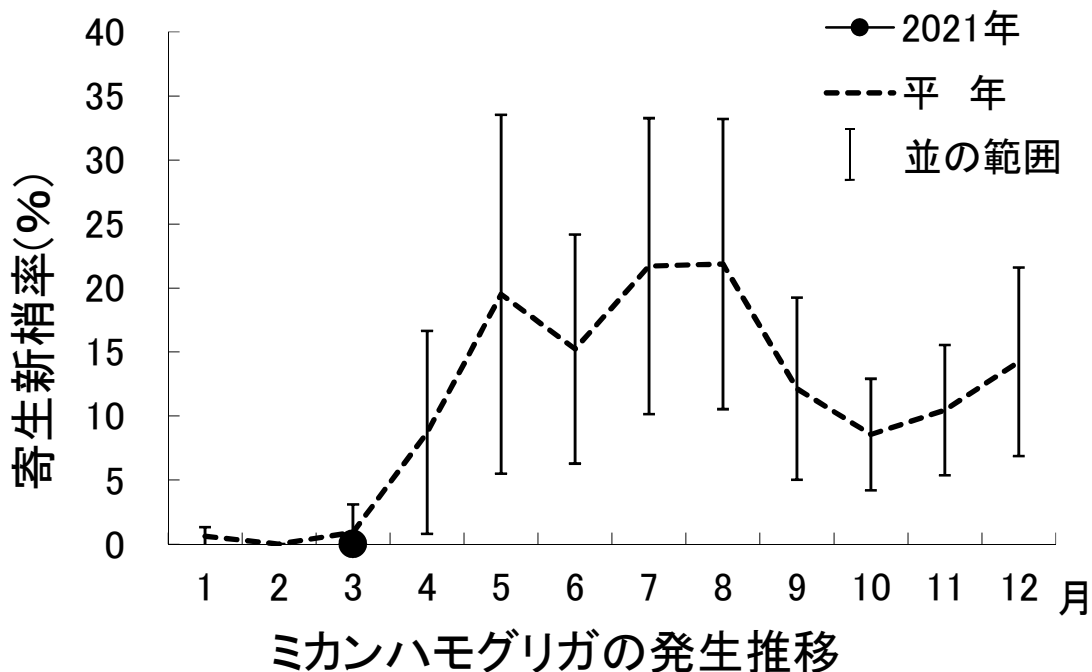
防除のポイント

- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。




作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	

調査結果

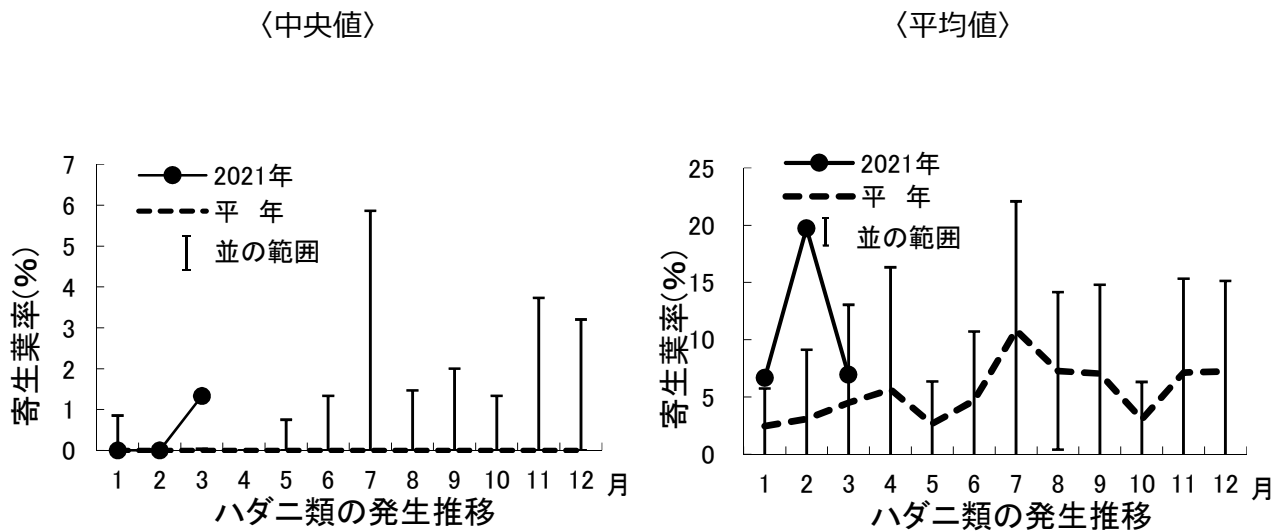


防除のポイント

- ・被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	→	
	4 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果



- ・ 発生ほ場率：60%（平年値：30.8%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状